

「久しぶりにハマりたい」(土手)

最近は子供達のテニス観戦に夢中です

日本シリーズも終わりました、めっきり寒くなってきました。毎年日本一早いと言われる静岡県のスキー場は先月オープンし大変活況のようです。しかしスキー、スノーボード人口は年々減少し1993年のピーク1,800万人を境に、現在約800万人となんと半分以下になってしまっているそうです。「昔やってたけど、今は全然」って人が多いんでしょうね。もしかしたらほんとにガンガン滑りたい人は今はチャンスなのかと思います。うわさでは、昔に比べて渋滞がない ゲレンデに人が少ない リフト待ちがほぼ無い、らしいのです。実は私、スノーボードが大好きなんです。久しぶりに今シーズンは行きたいなあ。



## 今さら聞けない 経済用語

### 【今月の教えてキーワード：健康経営】

「従業員の健康が会社の経営にも効果をもたらす」という考え方のこと。経済産業省では「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること」としている。従業員の医療費が減れば、いずれは企業が負担する健康保険料の減少につながるだけでなく、生産性の向上や企業としてのイメージアップも期待できる。経産省と東京証券取引所は共同で、健康経営に関する優良企業を「健康経営銘柄」として選定し公表している。

## 偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

### 【為政清明(いせいせいめい)：大久保利通】

幕末から明治の激動の時代、命を賭して新しい日本のために尽力した大久保利通は1830年、薩摩藩の下級武士の家に生まれました。学問を好み、身分にこだわらずに農民や町人とも交流した父や、海外事情に通じ先進的な思想を持つ祖父の血を引いたといわれる利通は、その才覚をいかんなく発揮。強い信念のもと知略を用いて倒幕、王政復古のクーデターを成功させて明治政府を樹立します。多くの士族の反感を買いながらも廃藩置県などさまざまな改革を断行し外交でも手腕を発揮しますが、志半ばにして暗殺され非業の死を遂げたのは47歳のときでした。その中で注力したのが「殖産興業」です。42歳の頃に岩倉使節団として約1年10カ月に渡り欧州を視察した利通は、同じ島国で繁栄していたイギリスに特に興味を抱きます。イギリスの高い生産力や発展ぶりに触れて感嘆するとともに、イギリス発展のポイントは工場と貿易にあると分析し帰国後、その知見を生かします。その後、政府の中核である内務卿に就任すると、日本初となる内国勧業博覧会を開催。富岡製糸場など官営工場も設立し、官民あげて殖産興業に取り組むことで日本は近代国家への道が開けたのです。冷徹非情と非難されながらも志を貫いた利通の政治理念は「為政清明」。清く明るく堂々と政治に向き合う真摯な姿勢がうかがえます。



## 今を生きる 先人の言葉

意志あるときに  
道は開ける

第16代アメリカ合衆国の大統領であるリンカーンの言葉。どんな困難な道でも、それをやり遂げる強い意志さえあれば、必ず道は開ける。さあ、一步を踏み出そう！

# トレンドを斬る!

農林水産省の青年就農給付金制度の後押しで脱サラし、農業を始める若者たちが増えています。この制度は45歳未満が対象で

年間最大150万円が一定の条件のもとに支給されるものです。技術の習得や販路の拡大、近隣農家との付き合いなど、忍耐力とコミュニケーション能力が問われるために苦勞も多いですが、土に直に触れて収穫することで心は癒され自然と共に寝起きする生活には計り知れない喜びがあるとか。これにより農業高齢化の歯止めとなるかが期待されます。



## 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント: 【答えは心の底にある】

「分かりました」と言いながら、ちっとも分かっていない人。

歌の文句のようですが、このような人はたくさんいます。商売をしていればよくお分かりでしょう。本人に悪気はありません。なぜならその場では分かったつもりでいるからです。ところが実際にはほとんど忘れてしまうので、結局また同じことを伝える羽目になります。本人に問題がある場合もありますが、「分かったつもり」は誰にでも起こることなのです。もちろん自分自身が「ちっとも分かっていない人」になっていることもあるでしょう。



さて、次の問いは行動変化を起こすための研修で使う手法です。

聞いたことは( ) 見たことは( ) やったことは( )

( )には「分かる/身に付く・覚えている・忘れる」のどれかが入ります。正解は、「聞いたことは忘れる」「見たことは覚えている」「やったことは分かる/身に付く」です。では、「( )ことは使う」の( )にはどんな言葉が入るでしょうか。「ふ(腑)に落ちる」の「腑」とは「心の底」のこと。口でいくら「分かりました」と言っても、心の底で納得しないとふに落ちないようです。それでは、心の底で納得するためにはどうしたらいいのか。その答えが「( )ことは使う」につながります。「気付いたことは使う」もしくは「発見したことは使う」。要するに、自分で見付けたことは自ら行動に移すということです。自分で見付けたから忘れにくく、忘れないから使うという単純な原理ですが、そこには「自分で気付いた」という喜びがあることを見逃してはいけません。自分で答えを見付けた喜びが行動の第一歩になるのです。自分で考えなくてもすぐに答えが手に入る便利な時代ですが、それが行動に結びついていなければ、その答えにあなたは納得していないのかもしれないかもしれません。まずは自分自身や目の前の商売を振り返ってみてください。あなたはその答えに心の底で納得していますか?



トナリの

## 本棚



### 【天才】

元東京都知事で作家の石原慎太郎が、「俺」という一人称を使って、故・田中角栄元首相が独白する形式で書いた本です。かつては田中氏を金権政治家として批判していた著者が、なぜ「天才」と評価したのか。日本の政治を振り返る一冊です。

### 船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎